

## **2017年度事業報告書**

( 2017年 4月 1日から2018年 3月31日まで )

### 概 況

我が国経済は、2017年度も緩やかな回復基調が続きました。海外経済の回復により輸出や生産が持ち直して企業の稼ぐ力が高まり、企業収益が過去最高水準となる中で雇用・所得環境が改善し、個人消費や民間設備投資の拡大にもつながっているとのことです。

2018年 1 月に公表された IMF の経済見通しでは、2017年の世界経済の成長率を 3.7%と前回の見通し（2017年10月）から上方修正し、2018年と2019年の成長率も3.9%まで高まっていくであろうとの予測です。しかしながら、世界情勢の変化から目を離せない昨今、先行きの不透明感は拭えません。（参考資料：内閣府「月例経済報告」等）

わが国においては、少子高齢化が進む中、人口の減少、とりわけ生産年齢人口の減少が深刻になっております、高齢者人口が増加することで、年金・医療・介護等の社会保障費がどんどん膨らんでいくという問題もあります。

また、老朽化が進む道路やトンネル、公共施設等、社会インフラの維持・管理が大きな課題となっており、人口が急激に減少している地域では特に深刻です、

こうした状況の中、世界が協調して取り組んでいるのが SDG s（持続可能な開発目標）です。わが国においても、政府、産業界、そして教育の分野でも積極的に取り組まれております。

課題先進国となった日本で、こうした社会的課題を解決し、そのノウハウを蓄えていくことは、非常に意義のあることで、こうした領域にもぜひVEを適用していただきたいと考えます。

将来を担う若い世代、学生や生徒の方々が、在学中からESD（持続可能な開発のための教育）の一環として、VE的思考を身につけていただくことも大きな意義があると考えます。

本会では、以上のような状況を踏まえ、VEの適用拡大・普及を目指して参りました。

2017年度においては、

- ① 企業の個別ニーズに対応する“出前講座及び講師派遣”の受注増
- ② 新市場拡大のための“海外展開”
- ③ VE適用領域拡大のための“教育分野へのVE導入”

などに取り組んだほか、「第6回VEアジア大会 兼 第50回VE全国大会」にも注力しました。

出前講座及び講師派遣の受注については、見込み企業及び受注企業へのきめ細かいフォローを続けた結果、いずれも前年度を上回る受注となりました。

海外展開については、タイ・中国に続いて韓国でVEリーダー認定試験を実施したほか、中国、パキスタン、ベトナムの企業や団体にVE専門家を派遣し、VEの指導を行いました。

教育分野については、「アクティブ・ラーニングへのVE適用研究会」にて、文部科学省へのヒアリングや、大学・高校でのワークショップ試行などを行いました。

以下に詳細を報告いたします。

# 1. 講座

## 1) VE基礎講座の開催

	第1回	第2回	第3回	第4回
開催日	5月25日～26日	6月15日～16日	6月20日～21日	7月13日～14日
会場	日本VE協会	日本VE協会	新大阪丸ビル	日本VE協会
受講者	15名	12名	13名	10名

	第5回	第6回	第7回	第8回
開催日	9月14日～15日	10月12日～13日	11月16日～17日	11月20日～21日
会場	日本VE協会	日本VE協会	日本VE協会	新大阪丸ビル
受講者	9名	19名	17名	14名

	第9回	第10回
開催日	12月14日～15日	3月8日～9日
会場	日本VE協会	日本VE協会
受講者	20名	28名

## 2) 「バリュー・マネジメント実践塾」各種講座の開催

### (1) 「ベーシックスキルコース」の開催

	1日でわかる 改善マインド入門	かんたんVE WAVE法入門	1日でわかる 改善マインド入門
開催日	5月29日	2月9日	3月2日
会場	日本VE協会	日本VE協会	日本VE協会
受講者	7名	11名	14名

### (2) 「ビジネススキルコース」の開催

	アイデア発想で活用できる 創造カトレーニング	社内研修効果をも高める インストラクション技術	独創的なアイデアを生み出す TRIZをVEで活用する方法
開催日	6月9日	7月28日	8月1日
会場	日本VE協会	日本VE協会	日本VE協会
受講者	9名	7名	14名

	行動と結果を引き出す 会議力向上講座	VE成果の確実性を高める 特許の基礎と特許的思考法	提案を実行する技術 プロジェクトマネジメントの基本
開催日	9月8日	10月4日	10月17日
会場	日本VE協会	日本VE協会	日本VE協会
受講者	6名	(中止)	8名

	思考の基礎を体系的に学ぶ 考えるスキルの基本
開催日	11月7日
会場	日本VE協会
受講者	6名

(3) 「テクニカルスキルコース」の開催

	業務革新のための ソフトVE	事業戦略をデザインする 企画段階のVE	開発設計のVE
開催日	6月22日～23日	6月26日～27日、7月3日～4日	8月24日～25日
会場	日本VE協会	日本VE協会	日本VE協会
受講者	11名	5名	14名

	VEブラッシュアップ
開催日	9月25日～26日
会場	日本VE協会
受講者	20名

(4) 「アドバンスコース」の開催

	経営者を納得させる VE提案書の書き方	VEチームを価値創造集団へと導く ファシリテーション力	VEの原点的思考 (機能分析中心)
開催日	7月21日	8月10日	8月30日
会場	日本VE協会	日本VE協会	日本VE協会
受講者	3名	4名	7名

	VEを組織的に適用する ためのマネジメント
開催日	9月11日
会場	日本VE協会
受講者	5名

3) その他研修会等の開催

(1) スキルアップセミナーの開催

	VES受験直前勉強会	VE全国大会論文に入選するための 論文の書き方講座
開催日	11月1日	2月2日
会場	日本VE協会	日本VE協会
受講者	22名	6名(うち2名は動画受講)

※「論文の書き方講座」の受講者のうち希望者2名に対しては、講師による草案添削指導と面談指導を実施。

(2) 「VEの基礎」通信講座の開講

地理的・時間的な都合等で通学講座の受講が難しい人にも、VEの基礎を学び、VEリーダー(VEL)資格認定試験の受験資格を取得できる機会を設けること等を目的に開講し、59名が受講。

(3) 西日本支部(中四国・九州地区)でのVE塾の開講

① VE塾の開講

地区名	メンバー	内容
九州	8名	製品VEや作業VEを実際に役立たせるための進め方やポイント。
広島	9名	

② 成果発表会（V Eの基本と実践セミナー）の開催

	九州地区・広島地区合同
開催日	3月20日
会場	マツダ(株) 本社
参加者	65名

(4) 西日本支部（東海地区）でのV E技術情報交流会の開催

開催日	7月27日	11月10日
会場	イオンコンパス 名古屋駅前会議室	イオンコンパス 名古屋駅前会議室
参加者	17名	17名
内容	これならできる 電子回路のV E	これならできる業務改善 90分V Eで働き方改革

(5) V Eコンサルタント養成講座の開催

開催日	10月7日、11月11日 11月25日、12月9日
会場	日本V E協会
参加者	3名

(6) 「経営者フォーラム」の開催

	第1回	第2回	第3回
開催日	5月18日	8月31日	3月14日
会場	アイビーホール（青学会館）	アイビーホール（青学会館）	アイビーホール（青学会館）
テーマ	使用機能、魅力機能、 そして第三の機能 “不利益機能”とは!?	働き方改革の本丸、 生産性改革を実現する “面積原価管理”	仕事の生産性は ドイツ人に学べ
参加者	16名	22名	41名

(7) 原価企画・特別セミナー「利益を生み出す原価企画 ー強い企業は何が違うのかー」の開催

	第1回	第2回	第3回
開催日	7月20日	11月10日	2月8日
会場	日本V E協会	日本V E協会	日本V E協会
受講者	14名	12名	21名

(8) 公共機関でのV E技術者育成の支援

行政機関等で構成されている「全国設計V E推進研究会」が11月20日に秋田市で開催したV E発表会にV E専門家を派遣する等、公共機関におけるV Eの技術者教育を支援。

(9) CVSによるVE技術者育成の支援【「CVSフォーラム委員会」の開催】

	開催日	出席者	主 な 内 容
第116回	4月21日	7名	① 2017年度の活動テーマについて ② 2018年度活動テーマの募集について、など
第117回	5月24日	6名	① 2017年度の活動について ② 商店街活性化プログラムについて
第118回	6月28日	7名	① 商店街活性化プログラムについて
第119回	7月12日	6名	① 商店街活性化プログラムについて
第120回	8月24日	7名	① 商店街活性化プログラムについて
第121回	9月28日	6名	① 商店街活性化プログラムについて、など
第122回	10月20日	6名	① 商店街活性化プログラムについて ② 2018年度活動テーマの募集について
第123回	11月28日	7名	① 2018年度活動テーマの募集について ② 商店街活性化プログラムについて
第124回	12月22日	8名	① 2018年度活動テーマの募集について ② 商店街活性化プログラムについて、など
第125回	1月26日	7名	① 2018年度活動テーマの募集について ② 商店街活性化プログラムについて、など
第126回	2月22日	9名	① 2018年度活動テーマの募集について ② 商店街活性化プログラムについて、など
総 会	3月23日	15名	① 新CVSの紹介 ② 2017年度及び2018年度の活動について、など

(10) 教育機関におけるVE導入・普及

- ① 大学におけるVE教育への支援を実施。
- ② ESD（持続可能な開発のための教育）へのVE導入について、公益社団法人日本ユネスコ協会連盟との共同プロジェクトを立ち上げ、「第73回日本ユネスコ運動全国大会 in 仙台」で教育分野におけるVE手法の活用について展示紹介をしたほか、アクティブ・ラーニングへのVE導入について検討を行った。

(11) 海外でのVE導入・教育の支援

上海VE協会が主催するVE基礎研修及び無料のVE普及セミナーの実施等を支援。

## 2. 資格認定

### 1) 資格認定制度の整備・体系化

米国VE協会から“CVS資格認定制度改定”についての情報を収集し、対応方法を検討。

### 2) 資格認定試験の実施

試験名	実施日	会場	受験者	合格者
第43回 V E L 認定試験（前期）	4月18日 ～ 7月31日	全国約200箇所	694名	544名
第44回 V E L 認定試験（後期）	9月 1日 ～ 2月28日	全国約200箇所	1,907名	1,505名
第20回 VEスペシャリスト（VES）認定試験	12月 2日	東京・名古屋 大阪・福岡	81名	37名
第37回 CVS（Certified Value Specialist）認定試験	10月14日	東京・大阪	7名	3名

※ V E L 認定試験の受験者数及び合格者数には、中国及び韓国での受験者32名及び合格者31名を含む。

### 3) V E L 有資格者の継続教育【フォローアップ研修の開催】

開催日	7月 7日	11月 9日	1月29日
会場	日本VE協会	日本VE協会	日本VE協会
テーマ	これならできる テアダウンの活用	手軽にできる 図面を使った簡易VE	アイデアの行き詰まり解消 発想技法の活用
参加者	8名	9名	14名

開催日	3月16日
会場	日本VE協会
テーマ	明日から実践できる 新規事業創造VE
参加者	7名

### 4) 「バリュー・コンピテンシー」誌の編集・発行

総合的なスキルアップとキャリア形成を支援する情報誌「バリュー・コンピテンシー」の電子版を季刊で4回発行し、V E L のA登録者等に配布。

### 5) 「バリュー・エンジニアリング（VE）」誌の編集・発行

#### (1) 「VE誌編集委員会」の開催

	開催日	出席者	主な内容
第80回	6月30日	11名	① 2017年度前期の編集実績と検討課題について ② 2017年度後期の編集企画と検討課題について、など
第81回	2月 1日	11名	① 2017年度後期の編集実績と検討課題について ② 2018年度の編集企画、など

#### (2) VE誌の発行

第297号	第298号	第299号	第300号
5月 1日	8月 1日	11月 1日	2月 1日

## 6) VE 専門家の紹介

協会Web Site内に「VE 専門家検索システム」という名称のデータベースを設け、登録を希望するCVS・VES有資格者を広く紹介。

## 7) 更新登録の実施

VEL、VES、CVS登録者の更新登録（VEL・VESは終身登録を含む）を実施。

# 3. 講習

## 1) 「第6回VEアジア大会 兼 第50回VE全国大会」の開催

会 期	10月24日～25日【2日間】
会 場	アルカディア市ヶ谷
参加者	375名 (うち23名は米国、中国、台湾、インド、マレーシア、韓国、ベトナムからの参加者)
内 容	表彰式、講演、VE活動優秀賞受賞報告、特別セッション、働き方改革フォーラム、新商品開発フォーラム、バリューデザインフォーラム、VE70年目のKAKUSHINフォーラム、インターナショナルフォーラム、論文発表、事例発表、海外発表、特別報告、グローバルVEワークショップ、ネットワーキング・パーティー、オープンイノベーション・ツアー等

## 2) 地域VE大会の開催（西日本支部 関西地区、中四国・九州地区）

	第49回 VE関西大会	第61回 西日本VE大会
開催日	2月16日	10月13日
会 場	大阪国際交流センター	マツダ(株)
参加者	147名	49名
内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 講演 2件</li> <li>➢ 活動報告 1件</li> <li>➢ 事例紹介 3件</li> <li>➢ フォーラム 3件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 現場見学会</li> <li>➢ 講演 2件</li> <li>➢ 事例紹介 3件</li> </ul>

## 3) VEセミナーの開催（西日本支部 関西地区）

	VE 阪神セミナー	VE 京滋セミナー
開催日	7月21日	11月10日
会 場	大阪国際会議場	メルパルク京都
参加者	105名	94名
内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ フォーラム 1件</li> <li>➢ 技法紹介 1件</li> <li>➢ 事例紹介 4件</li> <li>➢ 講演 1件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 技法紹介 1件</li> <li>➢ 事例紹介 3件</li> <li>➢ 講演 1件</li> </ul>

## 4. 研究開発

### 1) 「バリューデザイン・ラボ」での先端的・実務的研究及び調査等の積極推進

#### (1) 「不便益&VE研究会」の開催

	開催日	出席者	主な内容
第16回	4月12日	5名	対象テーマの不便益機能系統図作成
第17回	5月10日	4名	不便益機能系統図によるアイデア発想
第18回	6月7日	4名	不便益VE手法の検討
第19回	7月5日	4名	不便益VE手法の確認
第20回	7月26日	7名	VE全国大会パネルディスカッションの骨子検討
第21回	9月4日	4名	VE全国大会特別報告発表資料の検討
第22回	10月16日	4名	大会パネル構成の確認、特別報告発表内容レビュー
第23回	12月5日	5名	活動の振り返りと来年度計画
第24回	1月15日	3名	手法検証のための事例づくり方法の検討
第25回	2月5日	5名	手法による商品企画検討
第26回	3月1日	5名	手法による商品企画案の具体化

(2) 5月18日に本会の「経営者フォーラム」で「使用機能、魅力機能、そして第三の機能“不便益機能”とは!？」をテーマに講演。

(3) 8月20日に秋田県湯沢市の起業家育成事業として開催されたイベント「TRADITION × INNOVATION ～地方の伝統産業はイノベーションを起こせるのか～」で不便益をテーマに講演。

(4) 10月25日に本会の「第6回VEアジア大会 兼 第50回VE全国大会」で特別報告「第三の機能“不便益”に着目した価値創造手法の提案」とバリューデザインフォーラム「不便益から導く価値創造～地方発イノベーションの試み～」を実施。

(5) 2018年3月、高橋書店主催「商品企画大賞」に不便益機能をもとにしたアイデア企画を応募。

#### 2) 公共事業（土木分野）におけるVMの研究及び普及促進検討

「公共事業のVM研究会」において、公共事業の発注者がVEの段階別適用やVE活用のための人材育成及び組織作りについて研究し、VEの普及を促進するための施策を検討。



### 3) 各支部での実務的研究の推進

#### (1) 機能別部会での研究活動

- ① 東日本支部に下記の機能別部会を設置して実務的な研究活動を推進し、それらの成果を「活動報告会」又はV E資料等で発表。

部会名	メンバー	主な内容
マネジメント部会	21名	新ビジネス構築手法・事業化についての研究や新たな価値を創造する企業のトップインタビュー。
V E推進部会	29名	V E指針上の課題について参加各社のノウハウをもとにした成功のためのポイントについての研究。
マーケティング部会	16名	マーケティング手法の理解や新たな価値を創造するためのツール開発と検証。
R & D部会	21名	価値を創造する手法としてV E手法を進化させるための、関連手法を含めた探究、研究、開発。
ものづくり部会	36名	ものづくり現場に出向き、現地・現場・現物を確認することによる最適な設計・生産・調達のあり方の理解。
社会インフラ部会	18名	「企業ケース検討会」と「建設V E研究会」による社会インフラに関わる研究。

- ② 活動報告会を開催して、上記各部会での取り組み内容や活動成果の一端を紹介。

開催日	3月 5日
会場	日本経済大学 大学院
参加者	83名
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 各部会の活動報告</li> <li>➢ チーム活動トピックス</li> <li>➢ 特別講演</li> </ul>

#### (2) 専門研究会での研究活動

西日本支部の中部地区と関西地区に下記の専門研究会を設置して、実務的な研究活動を推進し、それらの成果をV E資料又はV E大会等で発表。

- ① 東海地区

研究会名	メンバー	主な内容
中部建設V E研究会	14名	地域の実状にマッチした新たな時代の建設V E活動のあり方と「2時間V E手法」のさらなる洗練化。

- ② 関西地区

研究会名	メンバー	主な内容
つかいやすいTRIZ研究会	33名	V E等を含めた管理技術としての幅広い視点によるTRIZの普及・活用法。
経営革新を生み出す生き生きV E研究会	107名	各社のV E推進や実践方法等の情報をもとにした、V Eの効果的な普及方法と活用策。
実践原価企画研究会	19名	仕組み・制度やツール等、原価企画を実践するための具体的な方策。
V Eツール研究会	29名	ソフトV E等、過去に開発されたV E手法の見直しと実践。
サービス領域でのV E適用方法研究会	12名	第3次産業での共通領域であるサービス領域において効果的にV E活動を進める方法。
価値分析研究会	16名	V Eを企業経営の様々な場面でより適用しやすくするための研究。

## 5. 表彰

### 1) 協会顕彰の実施

#### (1) 「顕彰委員会」の開催

	開催日	出席者	主な内容
第1回	8月23日	4名	① 協会顕彰（個人・グループ表彰）の審査 ② 協会顕彰（VE活動優秀賞）の審査、など

#### (2) 受賞者及び受賞企業等の表彰

次の各賞の表彰を「第6回VEアジア大会 兼 第50回VE全国大会」で実施。

VE功労賞	① 樋口充章氏	(株)安川電機
VE特別功績賞	① 公益財団法人	ひろしま産業振興機構 殿
普及功労賞	① 足立 守氏	いすゞ自動車(株)
	② 池田 理氏	(株)ニコン
	③ 神田雅生氏	三菱電機(株) 姫路製作所
	④ 曾我行雄氏	(株)フジタ
	⑤ 服部哲郎氏	TEDバリューコンサルティング
	⑥ 牧野公一氏	(株)IHI
	⑦ 上海VE協会	殿
VE活動優秀賞	① 三菱電機(株)	三田製作所 殿

### 2) VE研究論文及びVE活動事例の審査・表彰・発表

#### (1) 「論文審査委員会」の開催

	開催日	出席者	主な内容
第1回	6月 5日	6名	① 応募論文及び事例の審査、など
第2回	7月31日	6名	① 修正論文及び事例の審査、など

#### (2) 入選論文・事例の表彰・発表

次の各賞の表彰・発表を「第6回VEアジア大会 兼 第50回VE全国大会」で実施。

優秀論文	① 織田 昌雄氏	三菱電機(株)
入選論文	① 渡邊 清彦氏	アズビル(株)
	② 福原 政則氏	(株)福原イノベーション研究所
入選事例	① 遠藤 学史氏	首都高速道路(株)
	② 坂本 幸一氏	KSバリュー・コンサルティング
	③ 渡邊 俊英氏	いすゞ自動車販売(株)
	④ 染谷 厚徳氏	首都高速道路(株)

## 6. 情報資料

### 1) 研究成果の資料化

- ① だれでも解決7つ道具－課題、困りごとをだれもが解決できる－  
(東日本支部 R&D部会 編) 10月24日 発行
- ② 原価企画導入・実践のためのQ&A－原価企画導入・実践の疑問に答える－  
(西日本支部 実践原価企画研究会 編) 2月 1日 発行

### 2) その他資料の発行

- ① 「第6回V Eアジア大会 兼 第50回V E 全国大会」V E 研究論文集及び資料集(電子版)  
10月24日 発行
- ② V E S 認定試験受験のためのガイド 11月15日 発行

### 3) V E テキスト・関連資料等の翻訳・発行

米国V E 協会の新しい標準テキストに相当する「Function Analysis Guide」を日本語訳し、販売。

### 4) V E 研究論文等のネット販売

- (1) 電子化した過去のV E 研究論文を協会Web Site内に開設したV E 研究論文検索・購入サイト「V E 論文navi」で販売。
- (2) 演習用のワークシート類を、協会Web Site内の資料・図書販売サイト「オンラインショップ」で個別又はセット販売。

## 7. VE活用支援

### 1) 出前講座の実施

No.	開催日	受講者	内容
1	4月18日～19日	10名	VEの基礎
2	5月12日・30日	17名	WAVE法
3	6月15日～16日	29名	VEの基礎
4	6月22日～23日	23名	VEの基礎
5	6月26日～27日	19名	VEの基礎
6	7月14日	19名	2時間VE
7	7月25日～26日	9名	管理者向けVE
8	7月27日	8名	WAVE法
9	8月1日	13名	WAVE法
10	8月2日～3日	16名	VEの基礎
11	8月4日	20名	2時間VE
12	8月7日～9日	12名	CMVE
13	8月22日～23日	10名	VEの基礎
14	9月7日～8日	19名	VEの基礎
15	9月13日	13名	VE講演
16	9月27日～28日	32名	VEの基礎
17	10月3日・30日	12名	CMVE
18	11月16日～17日	17名	VEの基礎
19	1月16日	31名	管理技術入門
20	1月18日～19日	18名	開発設計VE
21	1月18日・19日	30名	VEの基礎
22	1月25日・30日	16名	VEの基礎
23	1月26日	24名	VEの基礎(1日)
24	1月30日～31日	22名	VEの基礎
25	2月6日～7日	12名	VEの基礎
26	2月21日	15名	機能系統図研修(1日)
27	3月9日	16名	VEの基礎(1日)

### 2) 指導講師の派遣

(1) 日本国内では、依頼に応じて8社にVE指導講師を派遣し、VE導入又は実践の個別指導を実施。

(2) 海外では、中国、パキスタン、ベトナムの各国にVE指導講師を派遣。

### 3) VEワークショップ・セミナー(48時間以上)の再認定

3社の本会認定VEワークショップ・セミナーの再認定を実施。

## 8. 会員相互研鑽

### 1) 見学会・講演会等の開催

#### (1) 東日本支部

	事業所見学会	
開催日	5月23日	2月28日
会場	(株)SUBARU 矢島工場	さがみはら ロボット導入支援センター
参加者	49名	26名

	特別講演会
開催日	11月27日
会場	日本VE協会
講師	(株)BAN-ZI 宮原 万治氏 (株)グランデ 五十嵐雅人氏
参加者	18名

#### (2) 西日本支部（関西地区）

	工場見学会	
開催日	5月12日	9月 8日
会場	ナブテスコ(株) 鉄道カンパニー	(株)島津製作所 本社 三条工場
参加者	13名	17名

#### (3) 西日本支部（中四国・九州地区）

	工場見学会
開催日	7月 4日
会場	三菱電機(株) 福山製作所
参加者	10名

## 9. 広報活動

### 1) 電子メールによる情報発信

メールマガジン「VE情報メール」を毎月1回発行し、VEや本会に関する最新情報を積極的に発信。また、大会・セミナー等の案内や参加者募集などPRにも積極的に利用。

### 2) 協会Web Site及び Facebook による情報発信

- (1) 協会Web Siteを運営。定期更新を行い、VEや本会に関する最新情報を積極的かつタイムリーに発信。
- (2) 協会Web Site内のコンテンツとしてブログを運営。VEや本会に関心を持ってもらうことを目的に、職員が日常の出来事等とVEを関係付けた形に纏めて発信。発信の強化を図り、ブログの内容はFacebookにも掲載。
- (3) 協会 Facebook のページにもセミナー・大会等の詳細や本会からのお知らせ等をタイムリーに投稿し、Facebook ユーザーである本会関係者からの情報拡散を促進。また、VEL専用のFacebookページも開設し、特に就職活動を控えた学生をターゲットにSNSの活用を強化。
- (4) 協会Web Site内に東日本支部機能別部会及び西日本支部研究会の登録者を対象とした専用ページを開設し、議事録や会議資料の共有化や組織内での情報発信を実現。

### 3) 国土交通省 i-Construction 推進コンソーシアムへの参加

建設業でのVE活用を働き掛けるため、調査・測量から設計・施工・維持管理まであらゆるプロセスでICT等を活用して建設現場の生産性向上を図るために国土交通省が設置したi-Construction 推進コンソーシアムにVE専門家を派遣。

### 4) 他団体との連携による広報

VE大会の開催にあたり、次の団体から後援及びPR支援をいただいた。

- (1) SAVE International (米国VE協会)
- (2) 一般社団法人日本建築業連合会
- (3) 日本インダストリアル・エンジニアリング協会
- (4) NPO法人日本TRIZ協会
- (5) 日本創造学会
- (6) 上海VE協会
- (7) 公益社団法人大阪府工業協会
- (8) 公益社団法人京都工業会
- (9) 公益社団法人兵庫工業会
- (10) 一般社団法人滋賀経済産業協会

## 10. 会 議

### 1) 定時総会の開催

開催日	6月14日
出席者	85名
議案	① 2016年度計算書類承認の件 ② 理事選任の件

### 2) 理事会の開催

	開催日	出席者	主な内容
第21回	5月18日	11名	① 2016年度事業報告書及び計算書類承認の件 ② 理事選任の件 ③ 第7期定時総会招集の件、など
第22回	8月31日	12名	① 2017年度顕彰者決定の件、など
第23回	3月14日	11名	① 2018年度事業計画書及び収支予算書案承認の件 ② 2018年度資金調達及び設備投資の件、など

### 3) 「本部企画委員会」の開催

	開催日	出席者	主な内容
第45回	2月27日	6名	① 各委員会・各支部の2017年概況と2018年度予定について ② 本会2017年度概況と2018年度計画について

## 11. 会員数の異動

		会員数		入会	退会	増減
		2017年 4月1日	2018年 3月31日			
正会員	団体	81	83	5	3	+2
	個人	45	41	3	7	-4
賛助会員	団体	90	91	9	8	+1
	個人	73	73	8	8	±0
合計		289	288	25	26	-1

以上